

政治経済(Politics and Economics)

担当教員名	日高 薫	
学科、科目詳細	建築学科 2年 通年 一般科目 必修科目 2単位 講義	
学習・教育目標	(C)(H)	
科目的概要	政治と経済の基本原理を理解し、現代社会の経済社会や政治体制において生じている問題のメカニズムと問題に対処するための方策を考察する。	
テキスト(参考文献)	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎広明他：『詳説政治・経済』（山川出版社、2015年） ・その他：適宜資料を配布する 	
履修上の注意	国際社会は多様な政治と経済によって成立していることを考える視点を身につけることが期待される。そのために主体的に学ぶことが求められる。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合) <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験（70%） ・課題・平常点（出席及び授業態度）（30%） ・60点以上を合格とする。 ・状況に応じて授業の進行順が入れ替わる可能性がある。 	1/3以上の欠課
連絡先	kaoruhidaka@gmail.com	

授業の計画・内容

第1週 政治と国家（政治の意味、国家の要素）
第2週 政治と法
第3週 民主政治の発展(1)（原理と発展）
第4週 民主政治の発展(2)（近代民主政治の基本原理、基本的人権の保障）
第5週 民主政治の発展(3)（権力分立、各国の政治制度）
第6週 日本国憲法と民主政治(1)（憲法の概念、歴史）
第7週 日本国憲法と民主政治(2)（基本的人権の保障）
第8週 中間試験
第9週 日本国憲法と民主政治(3)（統治機構、日本の政治制度と国会）
第10週 日本国憲法と民主政治(4)（国民の司法参加、地方自治の仕組みと住民参加）
第11週 選挙（選挙制度、選挙運動の問題）
第12週 平和主義と日本の安全保障
第13週 国際社会の成立と発展（国際連盟～国際連合）
第14週 国際政治の動向(1)（人種、民族問題、紛争、軍縮）
第15週 国際政治の動向(2)（日本の領土問題について考える）
期末試験
第16週 経済活動の意義と資本主義経済
第17週 経済主体、市場の機能と限界
第18週 物価の動き、国民所得と経済成長
第19週 財政の仕組み
第20週 租税の意義と役割
第21週 貨幣の働き
第22週 金融の仕組み
第23週 中間試験
第24週 戦後日本の経済成長
第25週 産業構造の変化、中小企業問題
第26週 農業・食糧問題、労働問題と労働市場
第27週 社会保障、消費者問題、公害問題
第28週 国際経済の仕組み
第29週 国際機関の役割とグローバル化する市場経済
第30週 地球規模の諸問題と日本の役割
期末試験